

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

令和元年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

令和2年3月3日(火)発行 第 44 号 発行責任者:高橋 弘悦

令和元年度、突然の幕引きへ… 休業中の自覚ある行動を

27日の新型コロナウイルス感染症対策本部会合での臨時休校要請に伴い、明日4日より本校でも臨時休業となります。13日の卒業式、23日の修了式に向けて、最後のまとめに勤しんでいた生徒の皆さんにとっては、当たり前に来ると思っていた明日が突然奪われた感じとなってしまう、戸惑いが大きいのではないかと思います。

全国一斉にとられている措置です。趣旨を十分にくみ取り、感染防止に努めるとともに、ピンチをチャンスに変える有意義な過ごし方をしてほしいと思います。



臨時休校とする期間

令和2年3月4日(水)～令和2年3月23日(月)

※24日からは年度末・年度初め休業

臨時休校中の学校から指導事項について

(1) 生活について

学校からは、文書に基づいて事前指導をいたしました。健全な休業日となるよう、指導にご協力お願いいたします。なお、休業期間中、学校から家庭訪問、電話等で定期的な連絡をさせていただきます。

(2) 学習について

年度途中での休校となるため、各教科未履修のものがあります。学校から、学年ごとに「臨時休業中の課題」を配布しました。家庭で計画的に学習するようご指導お願いします。

学習を進めていく上で、質問等がありましたら遠慮なく学校に電話してください。また、この機会に、多忙に紛れてできなかった読書活動に取り組むようご指導願います。

なお、令和2年度早々に、未履修の部分については再度振り返りの指導をいたします。

お知らせ

学校からの連絡は、やないづ教育ネット、安全安心ネットで行います。定期的な閲覧願います。学校だよりもネットを通じて定期的にお届けしますので、ご覧ください。

町に貢献する中学校であってほしい

令和2年3月2日 集会講話より

私たちの町のことを考えてみましょう。人口がどんどん減って、少子高齢化が進んでいます。

お年寄りが快く過ごすことができる我が町は、住みよい町ということもできますが、生産性が低い町ということもできます。我が町の弱点でもあります。今日は、この弱点をプラスに変えようとがんばった中学生のお話をします。皆さんの先輩です。



西山地区の観音様には、不思議なものが奉納されています。「ひし」といいます。以前は多くの観音様に奉納されていたのだそうですが、今では限られた地区の観音様でしか見られません。

先輩たちは、このことを憂いて、復活させ、これをモチーフにストラップを開発し、柳津町の新たな民芸品として売り出せないか考えました。

売り出すに当たって、いくつか問題がありました。

一つ目。中学生が商売をしていいのか、という問題。これについては、県の偉い人やいろいろな人から心配する声が聞かれましたが、保護者の方の賛同が得られ、会社形式で行いました。



二つ目。民芸品として売り出すためには、数が必要です。中学生の本分は勉強すること。部活もあって忙しいので、これだけに時間を使うわけにはいきません。

そこで、先輩たちは、これを冬の間こたつにくるまってテレビばかり見ているお年寄りに作っていただくことを考えました。中学生の頼みですので、お年寄りは喜んで協力してくれました。数がそろると、中学生が一軒一軒訪問して製品を受け取りに訪問します。そこで、寂しくしているお年寄りとの自然な会話が生まれます。先輩たちは、そのついでに、玄関先の除雪のボランティアをします。

お年寄りにとっては、中学生と会話を楽しめるし、玄関先の除雪もしてもらえる。中学生にとっては、製品にする「ひし」を手に入れることができる。

弱点だった高齢者に生きがいと喜び、「中学生の役に立てる」という生産性を感じていただくことができるようになったのです。

この流れを継続してくれているのが、菊池晃太郎さんの桐細工や段ボールアートです。

先輩たちが、お金が絡むことで、周りから心配されながら始めた活動は、今ではこのようにあちこちの学校で行われるようになりました。三年生がこれから進学する高校でも盛んに行われるようになりました。

中学生でも、このように町の課題に取り組むことはできるんです。今年度は、皆さんも、柳津、西山地区でのロードフラワー運動、施設への慰問活動、清掃のボランティア活動、温泉祭りや冬祭りへの協力、修学旅行での柳津PR活動など、様々な活動に取り組みました。町中駆伝では、中学生のがんばる姿を見せることが地域の方を喜ばせることにつながることも知りました。中学生が町に貢献できる活動はまだまだありそうです。

やってみたいと思ったら、「こどもの出番じゃない」とか「やれるはずがない」などと考えずに、やれる方法を考えてみる。失敗しても、それがいつの日か大きな発明や活動に発展するかもしれない。何もしなければ始まらない。これからも、いろいろなことに挑戦する会津柳津学園中学校であってほしい、と思います。